

様式第3号（第12条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第1回吉川市水道運営委員会
開 催 日 時	令和4年7月29日（金） 午後2時00分から 午後4時00分まで
開 催 場 所	吉川市役所301会議室
出席委員（者）氏名	（市議会）小野潔委員 （使用者）飯塚貴利会長、阿部照義委員、中島のり子委員、 中島眞由美委員、番場勇貴委員、平塚史子委員、邨田茂委員 （有識者）宇野二郎副会長、木暮昭彦委員
欠席委員（者）氏名	
（事務局） 担当課職員職氏名	吉川市長 中原恵人 水道課長兼技術管理者 秋谷裕司 庶務係長 大滝利和、施設係長 村上飛鳥 庶務係 石井史織、専門調整幹 岡田和也
会議次第と会議の 公開又は非公開の 別	【次第】 1 開 会 2 委嘱書の交付 3 会長あいさつ 4 市長あいさつ 5 議 事 （1）令和3年度吉川市水道事業会計決算（案）について （2）令和4年度吉川市水道事業会計補正予算（第1号）（案）に ついて （3）その他 6 閉 会 【公開・非公開】公開
非公開の理由 （会議を非公開に した場合）	
傍 聴 者 の 数	なし

<p>会議資料の名称</p>	<p>令和3年度吉川市水道事業会計決算書（案） 令和4年度吉川市水道事業会計補正予算（第1号）（案） 吉川市水道事業水安全計画 <input type="checkbox"/>資料1 令和3年度吉川市水道事業会計決算の概要について <input checked="" type="checkbox"/>資料2 令和4年度吉川市水道事業会計補正予算（第1号）概要 <input type="checkbox"/>資料3 水安全計画について <input type="checkbox"/>資料4 給水装置の漏水修繕に係る費用負担について 令和4年度吉川市水道運営委員会会議開催予定表</p>
<p>会議録の作成方法</p>	<p><input type="checkbox"/>録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/>録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/>要点記録</p>
<p>会議録確認指定者</p>	<p>小野潔委員 中島のり子委員</p>
<p>その他の必要事項</p>	
<p>審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）</p>	

事務局	1 開会 会議は公開となることを報告した。
市長	2 委嘱書の交付 小野委員及び番場委員へ委嘱書の交付 (小野委員及び番場委員あいさつ(自己紹介))
会長	3 会長あいさつ
市長	4 市長あいさつ
事務局	水道運営委員会委員及び事務局の紹介 委員の全員が出席し、会議が成立していること及び傍聴者がいないことを報告、会議資料の確認。 議事進行を飯塚会長に依頼。
議長	5 議事 会議録について、録音機器を用いた要点記録とし、小野委員と中島委員を署名委員に指名した。
事務局	(1) 令和3年度吉川市水道事業会計決算(案)について 水道事業会計のスケジュールについて、説明する。 前年度の3月に予算を策定し、前年度の4月から3月までの決算が確定するこの時期に決算案について運営委員会に説明する。次の議題の補正予算は4月から始まった予算に変更が生じたことから議会に上程する前に委員会に説明する。 資料1「令和3年度吉川市水道事業会計決算の概要について」を用いて、P1の業務概要を説明。 (補足説明) ・給水戸数は増えているが、単身世帯が増えても家族世帯が減少すると人口は減少する ・総配水量は減少傾向にある、これは節水機器の普及が要因と考える ・有収水量は料金がとれた水量のことで、有収率が100%に満たない分は漏水等で無駄になった水量のことである ・平成29年度には有収率は88%だったが、現在94%に改善されている P2 収益的支出の状況を説明。 純利益は6千万円ほど出ているが、前年度に比べ4千万円減少している。これは委託料と賃借料の増加が主な要因である。

(補足説明)

- ・収益的収支は、水を作って売って得る費用と、水を作るための費用の収支

P3 資本的収支の状況を説明。

主な収入は家を建てた時の加入金、支出は工事にかかったお金と企業債の返済金である。

(補足説明)

- ・アパートの新築等、メーターの個数が多いと加入金が増える
- ・水道だよりのグラフを用いて説明、工事をどんどん進めると多額の工事費がかかり企業債(借金)を借りる必要が生じるのでバランスを取りながら事業を進めている

P4 供給単価と給水原価について説明。

前年度に比べ供給単価は減少し、給水原価は増加している。販売利益は減少しているが、2.65円確保できた。

【意見・質疑等】

平塚委員

基本水量(2か月 20 m³)しか使わない家庭が多いと利益が出ないということですか。

事務局

基本料金が2,090円なので給水原価より安く利益は出ないが、経費削減等で何とか運営している。

平塚委員

主婦仲間で話しているが、吉川市の水道料金は世田谷等に比べ大変安い。

事務局

料金が安い所は老朽管の更新等を積極的に行っており、それが料金に反映されている。

東部地区では三郷市が一番安いですが、大規模ショッピングセンターの誘致などで管路更新が行われ、また、水道の使用量も多くなるので水道料金は低く抑えられている。

水道は使用量が増えると料金が上がる仕組みとなっている。

現在、吉川市は石綿管の更新を進めているが多額の費用がかかるため、今後は料金の見直しが必要か検討していきたい。

P5～主な事業について、説明

石綿管の更新を1.4km、ポンプ盤の更新等を実施した。

県水は全体の96.89%を購入し、残りの3.11%は井戸水で賄った。

その他、漏水修繕や水質監視を適切に実施した。

水道フェスティバルはコロナ禍により中止とした。

(補足説明)

- ・石綿管の残りが約25kmあり、年間2km程度の更新だと10年以上かかる、この更新事業を借金とのバランスを取りながら進めていく

	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸の水質が悪いため、県水をなるべく多く活用している ・井戸の関連施設も老朽化しており、更新費用に多額の費用を要する。 ・これまでも井戸施設の在り方について審議してきたが、方向性を定めていきたいと考えている ・市民への情報提供を工夫してきたが、さらに理解を深めていきたい
<p>宇野委員</p>	<p>経営状況は悪くないと思うが、建設改良をどの程度水道ビジョンに見込んでいたのか、目標に対して達成状況をわかるようにした方がいい。</p> <p>決算書P14に経営指標を掲げているが、これらをもう少し説明した方がいい。</p> <p>管路更新率は、一般的には1%以上を目指した方がいいと言われているがビジョンではどうなっているのか。</p>
<p>事務局 宇野委員</p>	<p>水道ビジョンに対してどのような状況か次回説明する。</p> <p>ビジョン(R1)は2年くらい前のデータに基づき計画しており前提の情勢が変化しており、5年程度で見直しを考え、料金と併せて時点修正を検討する必要がある。</p>
<p>事務局</p>	<p>昨年度、管路の更新計画を策定した。東口の開発や水需要を踏まえダウンサイジングを図り、費用の見直しを行った。今後、説明をしていきたいと考えている。</p>
<p>木暮委員 事務局</p>	<p>コロナによる補助金は決算書でわかるようになっているのか。</p> <p>令和2年度、生活困窮者に対して基本料金の減免を実施した。</p> <p>決算上は市からの補助金として処理している。</p> <p>令和3年度は実施していない。</p>
<p>木暮委員</p>	<p>裁判事例で、老朽化した設備により断水になった場合はやむを得ない理由にはならないので、老朽化対策をしっかりと進める必要がある。</p>
<p>議長 事務局</p>	<p>(2) 令和4年度吉川市水道事業会計補正予算(第1号)(案)について</p> <p>資料2「令和4年度吉川市水道事業会計補正予算(第1号)概要」を用いて説明。</p> <p>配水管の工事費を増額補正するものと、テレメーター盤の更新について、世界情勢により盤に使用する半導体の製造に1年以上要するため、当年度予算を減額し、新たに債務負担行為を設定するものである。</p>
<p>木暮委員 事務局</p>	<p>テレメーター盤の更新は、元々1年で終わるものなのか。</p> <p>1年では難しいと考えていたが、繰越で対応できるものと考えていた。</p>
<p>議長 事務局</p>	<p>(3) その他</p> <p>吉川市水道事業水安全計画について</p> <p>資料3「水安全計画について」を用いて説明。</p> <p>質疑なし</p>

